



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第9号

例会日/2014年9月4日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

・新世代月間にちなんで

青少年奉仕委員会 森岡 幸江 委員長

・新会員スピーチ

岡田 新也 会員

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘

丹治正博 会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー

岩山知弘 会員

「四つのテスト」唱和

相良元章 会員

お客さま並びに来訪ロータリアン紹介

●新会員入会式

9月誕生祝い

会長挨拶

丹治正博 会長

食事

幹事報告

坪井大雄 幹事

お知らせ

●本日 17:30より「新会員オリエンテーション」、
18:00より「理事会」、19:00より「新会員歓迎
会」が辰巳屋にて開催されます。※次号以降で掲載
予定です。

●県北第一分区会長・幹事会報告

●9月4日現在の会員数…84名

●9月のロータリーレート…1ドル
102円

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

右近八郎 委員長

◎本日のプログラム

閉会点鐘

丹治正博 会長



二〇一四―一五年度会長 丹治 正博

今月九月は「新世代のための月間」です。
年齢三十歳までの若い人の育成を支援する
すべてのロータリー活動に光を当てるとと
もに、「各ロータリアンは青少年の模範」と
いう意識を持つて活動することが推奨され
ています。

皆さんご承知の通り二〇一三年度のR I
規定審議会で「新世代奉仕」が「青少年奉仕」
に名称が変更になりました。原文も「New
Generations Service」から「Youth Service」
に変わりました。しかし日本では月間の名
称は、まだ「新世代のための月間」のまま
であります。R I日本事務局によれば、月
間が変わらない理由は、規定審議会で変
更となった部分は、奉仕部門の名称のみで
あって、それ以外の「新世代」を含む名称

には変更がないからとの事でした。「新世代
奉仕」が「青少年奉仕」に変更された経緯と
理由を調べますと、欧米では新世代というも
のは、言葉通りだと「生まれたての新生児か
ら学童」までも含んだ意味であるとの事。と
ころが実際にはR Iのプログラムでは概ね
十二〜十三歳以上の青少年部門の活動に限
られているので、その範囲内でしか活動して
いないR Iの青少年プログラムに「新世代奉
仕」などという名称を冠するのは如何なもの
かという欧米からの反発(意見)を受けてR
I規定審議会二〇一三年度では「新世代奉仕」
を「青少年奉仕」に戻すという案が採択され
たのです。

私は今「郷土の心」が子どもたちを育むの
ではと強く感じています。かつて会津藩の藩
校日新館には「仕の掟」というものがありま
した。会津藩の男の子たちは、十歳になると
日新館に入学する決まりになっていました。

残念ながら、現代はこれらに反すること
ばかりがまかり通っています。私なら、こ
れらに次の六つを加えたいと思います。

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません
- 一、年長者には御辞儀をしなければなりません
- 一、虚言をいふ事はなりません
- 一、卑怯な振舞をしてはなりません
- 一、弱い者をいぢめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません

一、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
ならぬことはならぬものです

早寝早起きをせねばなりません
朝ご飯はきちんと頂かねばなりません
ご飯は感謝して頂かねばなりません
夜遅くに外を出歩いてはなりません
地べたにやたらに座ってはなりません
他人に不快な念を与えてはなりません

世の中、理屈では説明出来ないことがあ
ります。でも駄目なものは駄目なのです。
私たちが生まれ育った「郷土の心」が子ど
もたちを育むことに私たちは気づき、現代
における「仕の掟」を知恵をあわせて作っ
ていければ思うこのごろです。

新世代月間にちなんで

青少年奉仕委員会 森岡 幸江 委員長



今年度青少年奉仕委員会では、インターアクト、ローターアクト活動の活性化を図り、IAC、RACのプログラムを通して、奉仕の理解を深め30歳までの若い人に、責任感のある社会の一員となることを促すことを、目標、方針としています。

では、具体的に各アクトがどのような活動をしているのか、報告します。(計画書を参照)

先般、福島盲学校より、文化祭に向けて箏の練習をしている生徒に、実際に箏の演奏会を体験させたいという

ご依頼があり、RAC、IACよりチケットをプレゼントしました。またIACでは、「麻薬撲滅運動」の研修、ボランティアの企画やチャベットに学用品や衣料品を送る活動を続けています。

福島クラブでは、特に河田会長年度より、三者合同新世代会議を開催してきました。これは、クラブ、IAC、RACが一堂に会し、一つのテーマのもと意見交換をする会議です。若い方の真摯な意見に胸打たれるものがあります。

今年度は、11月8日(土)に福島東稜高等学校において開催予定です。後日、詳しい案内を出しますので、是非ご参加ください。

新会員スピーチ

株式会社 福島天香園

岡田 新也 会員



【自己紹介】

- ・ 昭和48年生まれの40歳。独身で母と2人暮らし
- ・ 趣味はゴルフ、競馬、美味しいものの食べ歩き

【会社紹介】株式会社福島天香園

- ・ 創業昭和10年、荒井の自衛隊前に本社
- ・ 落葉果樹苗木の生産販売
- ・ 祖父が山形の東根市から福島に出て創業
- ・ 現在では年10～12万本前後を日本全国に出荷
- ・ モモ、リンゴ、ナシ、カキ、サクランボの順に多い
- ・ モモ：あかつき・川中島など約50種、リンゴ：ふじ・つがるなど約30種、ナシ：幸水・豊水など約20種の苗木を生産販売

【果樹苗木の生産】

- ・ 苗木の造り方：種を播く/挿し木/接ぎ木の3種類
- ・ 種を播く：種は雄しべと雌しべがあって授粉して作られるので、元の木とは別の品種になってしまう。品質がある程度変わっても構わない雑果樹(クルミ、サンショウ、ナツメ等)のみこの方法を用いる。
- ・ 挿し木：発根性が高く、土壌適応性が大丈夫な場合に用いる。ブルーベリー、イチジク、アケビ、ザクロ等
- ・ 接ぎ木：殆どはこの方法を用いる。台木に品種を接木して苗木にする。「1年生苗」というが、実際には2～3年間かかっている。1年目に種を播くか挿し木して台木を作り、2年目に品種の穂か芽を接木する。リンゴは成木を小さくするために品種の接木の前にさらにもう一度接ぎ木するためもう1年、合計3年かかる。
- ・ 我々が最も気を付けているのは「異品種の混入」を絶対に起こさないこと。果樹は永年作物のため異品種が判明するまでに時間がかかり、同時に、その影響も多大なため、全社徹底して細心の注意を払っている。

【育種】

- ・ 消費者、生産者ともに嗜好、ニーズが高度化、細分化しており、従来品種よりも“美味しい”“作り易い”等高付加価値の品種が必要になっている。
- ・ 弊社ではモモの育種(新品種の創出)を行なっており、これまでもお客様に喜ばれる品種を作り出してきた。
- ・ 地道で忍耐が必要な取り組みではあるが、今後も皆様に喜ばれる品種を送り出せるように取り組んでいく。



【梨穂木の輸出】

- ・ 1988年から、苗木生産と並行して梨の穂木を台湾に輸出する事業も行っている。
- ・ 1970年中頃から台湾では「寄接ぎナシ栽培」が行われ、次第に面積を増やして主流になってきている。
- ・ これは花芽を高接ぎ(既存の成木台木の枝に芽を接ぎ木)する方法だが、日本梨は摂氏7.2度以下で1,400時間の低温でないと花芽分化せず、台湾ではその要件を満たさないため、花芽分化が起こらない。
- ・ そのため毎年花芽を接木する必要があり、その穂木を弊社が輸出している。
- ・ 穂木の確保は台湾の梨農家にとって極めて大切なことであるため、弊社でも大きな貢献意識を持って取り組んできたが、震災の影響で現在台湾では福島県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県農産物の農産物は輸入禁止措置がとられている。
- ・ 現在は輸入元が同じ鳥取県の輸出業者に枝の選別をお願いして輸出しているが、福島県の梨穂木を輸出できることが台湾の農家のみならず、福島県の農家にとっても望ましいことであり、早期の輸入規制解除を期待している。



寄接ぎ栽培
の結実状態



寄接ぎ栽培
の状態

【地域への貢献】

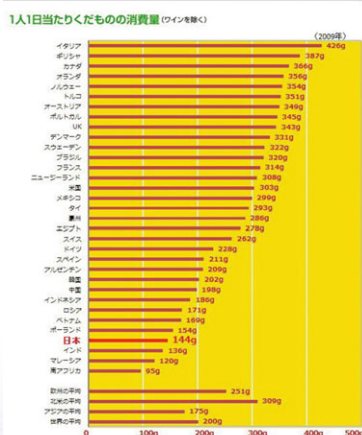
- ・ 創業者、前社長の代から地域に根差した事業、地域への貢献を強く意識してきた。品質優良な果樹苗木を提供することはその根本ではあるが、それ以外でも平成19年には福島市政100周年記念事業として花モモの苗木5,000本を寄贈し、ふくしま花のまちづくり事業に積極的に参画した。
- ・ 現在では福島県の農業総合センター果樹研究所を中心とした被災地の復興に寄与するための実証研究にも協力しており、あんば柿に用いられる蜂屋という品種の育成期間短縮のための研究を行なっている。ここで研究した成果が被災地の農家の皆様に貢献できることを期待している。



《蜂屋苗木育成ハウス》

【くだものを通して国民へ貢献する】

- ・ 福島市は2010年現在で市町村単位では梨の生産量日本一、桃は第二位、くだものの購入金額は県庁所在地の中で日本一など、日本トップクラスの果物王国ではあるが、世界という視点でみると果物購入量は先進国の最低クラスであり、かつ、年々その量は減少している。
- ・ そもそも人間は果物を食べる生き物であり、体が野菜と果物の水分を求めている。「正しい食べ合せ」と「果物と野菜の摂取量を正しく増やす」ことで、生活習慣病やガン等の発病率を著しく減らすことができる。アメリカでは「ファイブ ア デイ運動」(1日5種類以上の果物と野菜を採る運動)などが盛んであるが、日本ではまだまだこれらの認識が少ない。
- ・ 日本では1人1日あたりのくだもの消費量を世界平均値に到達させるべく「毎日くだもの200グラム運動」を展開し、果物を毎日の食生活に欠かせない品目として定着させる運動がされておりその発展に寄与したい。
- ・ これら健康増進への寄与やくだもの市場の拡大も、その出発点は優良な果樹苗木の生産から始まるものであり、我々の事業は日本国民はもちろん、世界の多くの人々に貢献できると確信しており、今後も貢献意識を持って事業を展開してきたい。



ロータリーの豆知識

第9回

インターアクト、ロータリーアクト、ライラ

《青少年奉仕プログラム》

新世代のためのRI常設プログラムには、インターアクト、ロータリーアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換があります。年齢30歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけようと、ロータリーのプログラムに参加しています。青少年プログラムの参加者は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加することによって、自分自身と世界について発見することができます。そのほか、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念についても学べます。第2530地区66クラブ中、インターアクトクラブとロータリーアクトクラブの両方を提唱しているクラブは福島ロータリークラブを始め福島北、喜多方の3RCのみです。

《インターアクト (Interact)》

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

クラブ会員の構成はさまざまです。男子のみ、女子のみのクラブもあれば、男女混合からなるクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。

毎年、インターアクトクラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクト(インターアクトクラブの会員)は地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクトの活動の真髄です。ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、120余りの国や地域に14,000以上のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、320,000人以上の若者がインターアクトとかわりを持っています。

現在、第2530地区には15のインターアクトクラブが活動しており、福島ロータリークラブでは福島東陵高等学校インターアクトクラブ(1971年昭和46年12月11日発会)の提唱クラブです。

《ロータリーアクト (Rotaract)》

ロータリーアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ロータリーアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ロータリーアクトクラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。

ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つとして、160余りの国や地域にある9,000以上のロータリーアクトクラブを擁するロータリーアクトプログラムは、世界的な現象となりました。

現在、第2530地区には5つのロータリーアクトクラブが活動しており、福島ロータリークラブでは福島学院大学ロータリーアクトクラブ(1986年昭和61年5月14日創立)の提唱クラブです。

《ライラ (RYLA: Rotary Youth Leadership Awards)》

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。RYLAの対象となるのは年齢12~30歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、12~18歳、19~30歳など、年齢層を絞って実施しています。RYLAは、リーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。(文責/丹治正博)

私のひとこと

牧野 吉晃 会員



二〇一九年にはアジアで初のラグビーワールドカップ(RWC)が日本で開催されます。RWCは一九八七年から四年に一度開催され、今やスポーツイベントとしては、FIFAワールドカップ、オリンピックに次ぐ世界で三番目に大きな大会となっています。

日本代表は第一回から連続出場していますが、まだ一勝しか出ていません。しかし、昨年

から国際試合に十連勝しており、世界ランクも過去最高の十位と健闘しています。

二〇一六年のリオ五輪からは七人制ラグビーが正式種目に採用されました。新国立競技場も東京五輪の前にRWCのメイン会場になります。

ラグビーはスピードと迫力があり、やるのはしんどいですが見るには面白い競技です。これからラグビーシーズンが始まるので是非一度見て日本代表を応援してください。選手同士のぶつかり合う音が伝わる生観戦がおすすめです。

例会プログラムのご案内

- 9月18日(木) 12:30～「辰巳屋」
・ゲストスピーチ 福島市長 小林 香 様
*「四つのテスト」唱和
- 9月25日(木) 12:30～「辰巳屋」
・マスコミ関係者よりスピーチ
*「四つのテスト」唱和
○別室にて11:00～「マスコミ懇談会」開催

9月
誕生祝い

菅野 晋 会員
白岩 康夫 会員
勢島 昇 会員
森岡 幸江 会員
坪井 大雄 幹事
牧野 吉晃 会員
岩城 章 会員



昭和 37年 9月 10日
昭和 4年 9月 13日
昭和 22年 9月 21日
昭和 35年 9月 25日
昭和 34年 9月 26日
昭和 36年 9月 27日
昭和 25年 9月 28日

新 | 会 | 員 | 入 | 会 | 式



積水ハウス福島支店 支店長

えさしかひろき
江刺家宏樹 様…紹介/渡邊又夫会員

生年月日/昭和47年5月29日 職業分類/住宅建築

1972年(昭和47年)5月に、岩手県盛岡市で生まれ、現在42歳になります。

岩手県立盛岡第三高校卒業、千葉大学卒業後、積水ハウス入社。初任配属先が、福島県の郡山支店となり、そのまま約19年間郡山支店で営業として勤務。今年2月に、福島支店へ初転勤となり、福島支店長として着任しました。

家族は、奥さんと中学1年の長男、小学校3年の長女の4人家族です。

住まいは、南中央に単身赴任で住んでおります。家族は引続き郡山の自宅に住んでいます。

趣味は、運動すること、特に球技が大好きです。現在もソフトボールと野球は、郡山市のチームに所属し、大会にも出ております。



*新会員カウンセラーとして、渡邊又夫会員が委嘱されました。

ニコニコBOX報告

〈報告〉門脇 渉 委員

本日のニコニコBOX投入額 26件

¥53,000 累計 ¥659,000

白岩康夫/茂田士郎/幡研一/坪井大雄
/田苗博/古俣猛/志村光昭/後藤洋伸
/高橋聡/門脇渉/内池浩/安藤健次郎
/相良元章/児玉健夫/佐藤英典/藤井高
志/田沼紀美子/安藤錬雄/増子勉

○その他、江刺家様入会祝いと岡田、森岡、両会員へのメッセージを頂きました。

○丹治 正博 会長
江刺家宏樹会員の入会を歓迎致します。九月は新世代のための月間です。次代の福島を担う青少年育成への意識を高めたいものです。

○牧野 吉晃 会員
先日磐梯山に登ってきました。山頂からの眺めは最高でした。山登りは初心者ですが、また違う山にチャレンジしたいと思います。

○加藤 義朋 会員
米山セミナー(九月七日(日))で米山親善大使に「巣立つた米山学友は、今…」と題してスピーチを企画致しました。

○森岡 幸江 会員
「新世代のための月間」にちなんでのスピーチです。宜しくお願い致します。誕生日を祝って頂きありがとうございます。

○岡田 新也 会員
今日は新会員スピーチという事で緊張しております。宜しくお願い致します。

○渡邊 又夫 会員
江刺家さんをお迎えでき、お誘いした者として、とても光栄です。

○江刺家宏樹 新会員
このたび福島ロータリークラブさんにお世話になることとなりました。沢山の事を教えて頂き、早く皆様と一緒に地域の人々のお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

パンダハウス募金で報告 (森川英治社会奉仕委員長)

9月4日

9,126円

累計 73,688円